

# シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
国 語	言 語 文 化	2	1	/	1～10組

教科書	「言語文化」(筑摩書房)	副教材	「読解を大切にする 体系古典文法」(数研出版) 「基礎から解釈へ 漢文必携」(桐原書店) 「読んで見て覚える重要古文単語315」(桐原書店) 「新訂総合国語便覧」(第一学習社)
-----	--------------	-----	---

科目の目標	1. 文学に幅広く触れ、多様な見方・考え方・感じ方を知ることで、物事を多角的に捉えることのできる人間性を養う。 2. 言語による伝え合う力を確かなものとするため、話す・書くといった表現活動と、聞く・読むといった理解活動に取り組み、他者との対話に生きる体系的な国語力を身につける。 3. 文学と言語を総合的に学習し、国語に関する知識を深め関心を高めることで、国際社会に生きる実践的な国語力を身に付ける。
-------	--

科目の概要	1. 上代から近現代まで幅広い時代の文学作品を通して、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにするとともに、文学作品を読み味わう楽しさを知る。 2. 言語事項について、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等の知識を身に付ける。 3. 文章の読解について、その内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉える力を養う。
-------	---

観点別評価			
3 観点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10の力	①「知識・技能」 ⑥「受信・発信力」 ⑨「自己管理能力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	②「課題対応力」 ⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観点の評価	○言葉には文化の創造、継承、発展を支える働きがあることを理解できたか。 ○使用する言葉を増やし、語感を磨くことができたか。 ○文章おける特徴的な表現技法と効果について理解できたか。 ○文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解できたか。	○作品に表れているものの見方、感じ方、考え方などを捉え、内容を解釈することができたか。 ○作品の内容や構成、展開などを基に、その叙述を的確に捉えることができたか。 ○自身の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の構成、展開、文体、描写等を工夫して表現することができたか。	○作品の解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化について自分の考えを持つことができたか。 ○題材や素材を吟味しながら、文章の構成、展開、文体等を工夫して自分の考えを表現することができたか。 ○読書の意義と効用について理解できたか。
評価の方法	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況  以上をふまえて、学期末・学年末の総合成績をもって評価する。	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況  以上をふまえて、学期末・学年末の総合成績をもって評価する。	○授業内・外での学習活動等 ○課題への取り組み・提出状況  以上をもとに、学期末・学年末の平常点で評価する。

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 ( 単 元 )	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	【古文編】 ・入門：古文入門（文法の基本・歴史的仮名遣い・動詞など） ・説話：『宇治拾遺物語』『絵仏師良秀』 【漢文編】 ・入門：漢文入門（訓読の基本・返読文字など） ・故事：『韓非子』『守株』 【1学期 中間試験】 5月19日～22日	【古文編】 ・古文の言葉やきまりについて、基本的な事項を学ぶ。 ・〔説話〕に描かれた人物の言動や心情を読み取る。 ・〔説話〕に描かれた世界観や人間のありようを考える。 【漢文編】 ・訓読のきまりについて基本的な事項を学ぶ。 ・〔故事成語〕を理解し、現代における意義を考える。
	【古文編】 ・入門：古文入門（文法の基本・形容詞・形容動詞など） ・説話：『徒然草』『丹波に出雲といふ所あり』 【漢文編】 ・入門：漢文入門（訓読の基本・再読文字など） ・故事：『推敲』『唐詩紀事』 ・故事：『戦国策』『漁夫之利』 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	【古文編】 ・古文の言葉やきまりについて、基本的な事項を学ぶ。 ・〔随筆〕に描かれた作者の思考や感性を読み取る。 ・〔随筆〕に見られる歴史的・文化的背景を知る。 【漢文編】 ・訓読のきまりについて基本的な事項を学ぶ。 ・〔故事成語〕に表れた教訓や風刺などを読み取る。
2 学 期	【古文編】 ・物語：『伊勢物語』『梓弓』 【漢文編】 ・史話：『十八史略』『管鮑之交』 【2学期 中間試験】 10月14日～17日	【古文編】 ・〔物語〕の設定を理解し、登場人物のおかれた状況や心情を読み取る。 ・〔物語〕の草分けでもある歌物語の特徴を理解し、文学的意義を知る。 【漢文編】 ・〔史話〕に描かれた人物の言動や心情を読み取る。 ・〔史話〕の魅力を知り、読み継がれてきた意義を考える。
	【古文編】 ・日記：『土佐日記』『門出』 【近代以降の文章編】 ・短歌：十二首 【2学期 期末試験】 12月1日～5日	【古文編】 ・〔日記〕において個人的な感情がどのように表現されているかを読み取る。 ・〔日記〕における和歌や諧謔などの表現上の工夫を味わう。 【近代以降の文章編】 ・〔短歌〕に詠まれた情景や心情を読み取る。 ・〔短歌〕の形式を理解し、近代短歌の展開を把握する。
3 学 期	【古文編】 ・和歌：『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』 【漢文編】 ・思想：論語 【近代以降の文章編】 ・俳句：十八句 【3学期 学年末試験】 3月4日～9日	【古文編】 ・〔和歌〕の特徴や技法について理解する。 ・『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』を理解し、日本の言語文化における意義について考える。 【漢文編】 ・『論語』の学問・人間・政治についての思想を読み取る。 【近代以降の文章編】 ・〔俳句〕に詠まれた情景や心情を読み取る。 ・〔俳句〕の形式を理解し、俳句の展開を把握する。